

アルツハイマー病およびパーキンソン病の創薬標的検証を目的とした病理学および生化学的解析に関する情報公開

1. 研究の対象	新潟大学脳研究所にて保管されているアルツハイマー病、パーキンソン病および中枢神経疾患をもたない患者さんと、病理解剖時にご遺族から脳組織の研究利用について承諾をいただいている患者さん（新潟大学研究等倫理審査申請番号：2024-0102）。
2. 研究目的・方法	<p>超高齢化社会を迎え、認知症をはじめとした神経変性疾患患者の急増は深刻な社会問題となっています。アルツハイマー病（AD）やパーキンソン病（PD）は患者数の多い神経変性疾患ですが、未だその発症メカニズムには不明な点が多く、現在のところ、病態の症状を改善する治療薬または病態の進行をわずかに遅らせることができる治療薬しかなく、さらに有効な病態進行を抑制する治療薬の創出が強く望まれています。本研究を通じ、疾患患者脳において、創薬標的候補分子やその機能パスウェイに関与する分子の変化を解析することで、病態メカニズムの理解を深めるとともに治療コンセプトの検証を行います。これにより、創薬標的の妥当性を確認し根本的治療薬の創生に繋がることが期待されます。</p> <p>具体的には、新潟大脳バンクの AD および PD 患者由来組織について、特殊染色、免疫染色、生化学的解析（ウェスタンブロットング、ELISA、定量的 RT-PCR、LC-MS 等）を用いて、創薬標的分子およびその関連分子の発現量や局在解析を行うことで、治療コンセプトの妥当性検証を行います。</p>
3. 研究に用いる検体・情報の種類	新潟大学脳研究所から、個人が特定されないよう匿名化されたうえで、アルツハイマー病、パーキンソン病および中枢神経疾患を持たない患者さんから病理解剖にて採取した脳組織（パラフィン包埋及び凍結）および臨床情報（年齢、性別、疾患名、罹病期間、中枢病理所見）の提供を受けます。武田薬品工業株式会社では、個人を特定する個人情報の提供を受けません。また、新たに取得することも致しません。
4. 研究期間	2024年8月19日～2025年3月31日
5. 外部への資料・情報の提供について	<p>免疫組織染色および特殊染色は、一部検体を業務委託として株式会社共同病理、福島セルファクトリー株式会社もしくは株式会社ティー・エヌ・テクノスで実施する可能性があります。生化学的測定は、業務委託として新日本科学およびシミックファーマサイエンスで実施する可能性があります。</p> <p>また得られたデータを国外のタケダグループ会社、事業提携会社や業務委託会社、規制当局、研究機関や医療機関に提供することがあります。</p>
6. 共同研究機関・研究の責任者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田明美 メールアドレス：kakita@bri.niigata-u.ac.jp
7. お問い合わせ先	対象の試料がこの研究に使用されることについて患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。



Better Health, Brighter Future

	<p>武田薬品工業株式会社 リサーチ ニューロサイエンス創薬ユニット リサーチマネージャー 古澤誠 メールアドレス : makoto.furusawa@takeda.com</p>
--	--